

【月案】11月・2歳児

今月の保育のポイント

- 子どもの自立心と、大人への依存心の揺れを受け止めた上で、身近の自立へ向けて出来るところ、苦手とするところ、できなかった状況を観察し、子ども一人ひとりの課題を明確にしておく。
- 身の回りのことを自分でしながら子どもに対しては、気持ちをしっかりと受け止め、保育者と一緒に自立へ歩いていく形の援助をとる。一緒に行って出来たときは十分に誉め、徐々に次の意欲へとつなげていく。
- 秋の果物、落ち葉、どんぐりなどの秋の自然物に触れ、造形遊びに取り入れるなどして五領域の広がりを意識する。
- 友達と関わる、関心をもつことをそれぞれの姿の中から大切にし、子どもの社会性を尊重する。トラブルが起きた時は相手の気持ちをゆっくりと伝えながら、納得できる道を子どもと探していく。

月のねらい

- 生き物や植物、落ち葉などに触れ、秋の自然に親しむ。
- 保育者や友達と言葉でのやりとりを楽しむ。
- 環境に配慮してもらいながら、心地よく過ごす。
- 自己主張する姿を温かく受け止め、情緒の安定を図る。
- 簡単なルールがある遊びを楽しむ。
- 遊具や音楽に合わせて体を動かすことを楽しむ。

週のねらい

その1

- 1週目：秋の自然に触れ、生き物や植物に興味を持つ（教育）
- 2週目：戸外で集めた木の実や落ち葉を使って製作を楽しむ（教育）
- 3週目：身体を思いっきり動かしながら楽しく遊ぶ（教育）
- 4週目：保育者や友達と関わりながら、好きな遊びを存分に楽しむ（教育）

その2

- 1週目：保育者や友達と言葉のやり取りやごっこ遊びを楽しむ（教育）
- 2週目：室内外の気温差に気をつけて、健康的に過ごせるようにする（養護）
- 3週目：手洗い、うがいなど衛生意識を育み、清潔を保ちながら健康的に生活する（養護）
- 4週目：戸外遊びを通して秋の自然に関心を深める（教育）

その3

- 1週目：甘えや要求等を受け止め、安定して過ごせるようにする（養護）
- 2週目：歌や音楽に親しみ、うたったり体を動かすことを楽しむ（教育）

- 3週目：簡単なルールがある遊びを保育者や友達と楽しむ（教育）
- 4週目：体調の変化に留意しながら適切な関わりを持ち、健康に過ごせるようにする（養護）

その4

- 1週目：自分の気持ちや経験したことを言葉にしようとし、伝わる喜びを味わう（教育）
- 2週目：描いたり作ったりすることを楽しむ（教育）
- 3週目：意欲的に身の回りのことに取り組み、出来る喜びを味わう（養護）
- 4週目：絵本を見たり、絵本の世界を遊びに取り入れることを楽しむ（教育）

前月末の子どもの姿

養護（生活）

- 手洗いうがいのやり方を覚え、自らやってみようとするがうまくできなかつたりそのまま水道で遊んでしまったりする子どももいる。
- 衣類を脱いだ後は、畳んでみようとする姿が見られる子どももいる。保育者に甘えてなかなか自ら着脱しない日もあるが、意欲的にやってみようとする子どもが多い。また、持ち物を自分の棚へ片付けることもできるようになり、身の回りのことへの関心が高まってきている。
- 遊んでいる途中でも自分のタイミングでトイレに向かうことができるようになってきている。しかし、遊びに夢中になっているときにはギリギリになってしまい、間に合わないこともある。
- スプーンやフォークを正しく持ち、メニューによって持ち替えながら上手に食事を進める姿が見られるようになってきた。すくいづらいメニューの時には手で支えながら食べることもあるが、ほとんどの子どもが最後まで意欲的に食事を進められている。
- 登園すると気が合う友達のところへ行き、遊び始める。保護者と離れがたくても友達が登園していることを伝えると気持ちを切り替えられることもある。
- 布パンツを履くことに対する意欲が低下し「オムツが良い」と訴えることがある。
- 簡単な手伝いを頼むと喜んで手伝おうとし、見ていた他児も「僕もやりたい」と言葉にする。
- 朝夕の気温差で咳や鼻水等の症状が見られ始めた子がいる。

教育（遊び）

- 安定して走れるようになってきた子どもが多く、戸外ではかけっこを楽しんでいる姿が見られた。また、乗り物や遊具などでも積極的に遊び、年上の友達の真似をしている子どももいる。
- 運動遊びでは、しゃがんだりジャンプしたりし、いろいろな身体の使い方に挑戦することができていた。うまく出来なくても、楽しそうに真似する姿があった。
- 好きな遊びに熱中する子どももいれば、友達の遊びに興味を持ち、いろいろな遊びに取り組む子どももいた。遊びの中で友達との関わりも少しずつ深め、自ら関わっていかうとする姿が見られた。
- 紙粘土で遊んだりマジックを使ってお絵かきをしたりする活動にも取り組み、楽しそうにする子どもが多かった。
- 「運動会で〇〇したね」と経験したことを言葉にしたり、「△△したい」と遊びに取り入れる様子が見られた。
- 玩具を独占し、トラブルになることがある。
- 体力がつき、散歩では少し長めの距離を歩くことができるようになっていたり、公園の遊具で遊ぶことを楽しんでいた。
- トンボを見つけると喜んだり、木の実や落ち葉を使って遊ぶことを楽しんでいる。

活動内容（五領域対応）／環境構成と援助

養護（生活）

- **活**：スプーンやフォークを正しく持って使おうとする。（健康）
環：食事の際には、スプーンなどを使って食べる姿を認めつつ、嫌になってしまわないように気をつけながら繰り返し正しい持ち方を伝えていく。
- **活**：朝の挨拶や食事の際の挨拶を覚え、自ら言葉やしぐさで言おうとする。（言葉・表現）
環：場面ごとの挨拶も少しずつ覚えてきているため、言葉で表現できるように声をかけていく。
- **活**：手洗いうがいや衣類の着脱など、身の回りのことを意欲的に行う。（健康）
環：手洗いの際には、袖をまくることも自分でできるよう、やり方を伝える。また、手を洗った後はタオルですぐに手を拭くことも知らせ、自分で流れが分かるようにしていく。
- **活**：自分のロッカーの場所を覚え、持ち物を自分の棚へ片付ける。（健康）
環：子どもが自分のロッカーを把握できるよう、マークをつけておく。マークが外れたり見えにくくなったりしていないか定期的に確認をし、見えにくい時には貼り直しを行うようにする。
- **活**：トラブルややり取りを通して、相手の思いや気持ちに気付く。（人間関係）
環：子どもの気持ちを受け止めながら、「～だと辛い気持ちになるよ、～と言うと伝わるよ」等、相手の気持ちに気付けるような言葉かけと、適切な言葉を丁寧に伝える。
- **活**：鼻を自分でかもうとする。（健康）
環：ティッシュを子どもの手の届く場所に置き、汚れたら自分で拭ける環境を整える。
- **活**：手洗いうがいを自分で行う。（健康）
環：手洗いうがいがしやすいように、コップを置く位置を近くしたり、台を置き、身長が低い子どもでも手洗い場に届きやすい高さにする。
- **活**：甘えたり自己主張する姿を受け止め、安定して過ごせるようにする。（健康）
環：気持ちを受け止めたり、分かりやすい言葉で代弁したりしながら安心感に繋げる。気持ちを受け入れられない場面がある時は、分かりやすく理由を伝えたり、気持ちの切り替えを図りながら丁寧に関わっていく。
- **活**：1日の大まかな流れが分かって意欲的に生活する。（健康）
環：1日の流れをイラストで示しておいたり、その都度子どもたちと確認することで理解や主体的な生活に繋げ、その姿を大いに認めていく。
- **活**：排泄の自立が進む。（健康）
環：布パンツを履きたがらない時は、気持ちを尊重し無理なく関わりながら、その背景にある思いを汲み取って「失敗しても大丈夫」「遊びたい時もあるね」と繰り返し働きかけていく。意欲を認め、持続に繋げていく。
- **活**：簡単な手伝いを喜び、人の役に立つ喜びが芽生える。（人間関係）
環：保育者の行動に興味を示している姿を受け止めながら、達成できる簡単な手伝いをお願いする。他の子ども興味を示しトラブルに発展することもあるため、一緒にできる物や順番にできる内容の物を考えておく。
- **活**：大きさや量、形に興味を持つ。（環境）
環：保育者が大きさや量の視点から言葉かけをしていくことで、感覚を育てていく。「大きい」「少ない」等、子どもが気付く姿に共感していく。
- **活**：周囲の物や事に興味を示し、「これなに？」「どうして」と言葉にする。（環境・言葉）
環：興味を受け止めて返答したり、時には一緒に調べたり、簡単な実験等も取り入れながら周囲への興味関心を深められるようにする。
- **活**：流行する感染症に留意しながら、健康に過ごせるようにする。（健康）
環：感染症の症状や感染経路・潜伏期間・予防策等について保育者間で共有しながら適切な対応が取れるようにしておく。

教育（遊び）

- **活：**木の実や落ち葉を使用した、製作を楽しむ。（表現）
環：戸外で子どもと一緒に落ち葉や木の実を集め、製作に取り入れる。実際に使ったり触れたりすることで、より自然のものに興味を湧くようにする。
- **活：**リズム遊びや運動遊びを通して、思いっきり身体を動かすことを楽しむ。（健康・表現）
環：いろいろな身体の使い方を覚え、走ったりジャンプしたりするのが楽しい時期になってくる。思いっきり発散できるよう、広々とした場所で運動遊びなどを行っていく。
- **活：**保育者や友達に自分の気持ちを言葉で伝えようとする。（言葉・人間関係）
環：嫌なことがあった時にうまく言葉で表現できず、手が出てしまったり泣いたりしてしまうこともある。気持ちを代弁しながら、自分の気持ちを言葉で表現できるように援助していく。
- **活：**ごっこ遊びなどを通して、友達とやりとりすることを楽しむ。（人間関係・表現）
環：ごっこ遊びに使える素材を用意し、遊びが盛り上がるようにする。子ども達の遊ぶ様子によって保育者も中に入り更に遊びを盛り上げたり、やり取りを楽しめるようにする。
- **活：**固定遊具などにも興味を持ち、挑戦してみようとする。（環境）
環：異年齢の友達の姿を見て、固定遊具や乗り物などに興味を湧くようにしていく。異年齢時と一緒に戸外で遊んでいる際には、ぶつかったり転倒したりしないように気をつけて見ていく。また、2歳児だけで戸外で遊ぶ時間も設け、思いっきり遊び込めるようにするなど、環境も工夫していく。
- **活：**保育士や友達と歌ったり、踊ることを楽しむ。（表現）
環：子どもたちの好きな曲や、楽しくリズムに乗れる曲を用意し、子ども達の振り付けも取り入れながら楽しい雰囲気の中で踊る。
- **活：**描く、切る、貼ることと、秋の自然物と組み合わせ、表現することを楽しむ。（表現）
環：十分に満足できる量の材料を用意し、子どもの表現したいものや動作自体を楽しむ行為を肯定しながら、何に興味をもって取り組んでいるかを観察する。
- **活：**落ち葉や虫など、見つけた物の色、形、手触りなどに興味をもち、その違いについて保育者と一緒に分かち合ったり調べる。（環境・言葉）
環：「この羽は透明だね」「落ち葉ざらざらしているね」等、感触や見た目などの気づきを子ども達と共有し、図鑑でその物と一致させて、子ども達の興味や言葉、調べて名前が分かる楽しさを引き出すようにする。
- **活：**保育者や友達と簡単なルールがある遊びを楽しむ。（人間関係）
環：分かりやすくルールを知らせたり、繰り返し遊ぶ中で理解に繋げていく。保育者が楽しむ姿を示すことで興味に繋げ、一緒に遊びながらルールがある遊びの楽しさに気付いていけるようにする。
- **活：**様々な絵本を見ることを喜び、言葉や場面を真似することを楽しむ。（言葉・環境・表現）
環：興味や発達に合った絵本を用意する。繰り返し楽しんでいる絵本は劇ごっこに発展させることで、絵本ならではの言葉や世界観を楽しめるように関わっていく。
- **活：**保育者や友達と発見を共有し合いながら散歩することを楽しむ。（人間関係・環境）
環：十分な時間設定を行い、気付きや興味を受け止め、観察したり触れたりしながらゆったりと散歩ができるようにする。
- **活：**折り紙で遊ぶ楽しさが芽生える。（環境）
環：1回折りや2回折りで完成する簡単な折り紙から始め、想像力や手先の発達に繋げていく。
- **活：**描いたものや作った物に意味づけをしながら遊ぶことを楽しむ。（言葉・表現）
環：集中して遊ぶ姿を見守り、子どものイメージや発想を大いに認めながら、喜びや表現力に繋げていく。又、イメージがより膨らむように関わることで遊びの充実に繋げる。
- **活：**鈴やカスタネット、太鼓等の楽器で遊ぶことを楽しむ。（環境・表現）
環：遊ぶ前や様子に応じて鳴らし方を伝えていく。音が出る面白さに共感したり、簡単なリズム打ちができる曲を弾くことで音楽に合わせて鳴らす楽しさを感じられるようにする。

- **活**：遊ぶ時の簡単な約束事が分かり守ろうとする。（健康・人間関係）
環：落ち着いた環境の中で約束事について伝えていく。遊び始めると気持ちが高まって守れないこともあるため、その都度言葉かけをしたり、守れている時に姿を大いに認めることで意識や危機管理能力に繋げていく。
- **活**：保育者や友達と劇ごっこを楽しむ。（人間関係・表現）
環：子どもの興味に合った題材を用意し、保育者が楽しそうに表現する姿を示していく。音楽や衣装、小物等を用意することで意欲や喜びに繋げ、表現力やコミュニケーション能力を育てていけるようにする。

健康、安全面で配慮すべき事項

- 室内が暖かくなりすぎないように、室温に気を付ける。また、動きやすくできるだけ薄着を心がけて、子どもが快適に過ごせるようにしていく。
- 寒暖差が出てきて体調を崩しやすく、また流行性の感染症がでてくるため、予防にしっかりと努める。体調不良に早く気づけるよう、普段の様子を一人ひとりよく観察しておく。
- 室内や玩具の消毒を小まめに行ったり、手洗いや手指の消毒を働きかけ、感染症予防に努める。
- 落ち葉や木の葉の下に危ないものが落ちていないか十分に留意する。

今月の製作・歌・絵本・手遊び・室内室外遊び

製作

- かわいい！みの虫製作／落ち葉でポンポン／紙皿でフクロウさん

歌

- でぶいもちゃん ちびいもちゃん／きくのはな／もみじ

絵本

- どんぐりとんぼろりん／タンタンの ずぼん／ぼうし とったら

手遊び

- やきいもグーチーパー／大きなクリの木の下で／やさいのうた

室内室外遊び

- 電車ごっこ／どんぐりころころお絵描き／大地の窓

行事

- 避難訓練
- 誕生会
- 身体測定
- 文化の日（11/3）
- 七五三（11/15）

- 新嘗祭 (11/23)
- 勤労感謝の日 (11/23)
- 絵本の日 (11/30)

食育

- 食べこぼしに気をつけながら食事を進めようとする。
- 友達や保育者と「おいしいね」など話をしながら、楽しい雰囲気の中で食事をする。
- 保育者の励ましや友達の姿を見て、様々な食材や料理を食べてみようとする。
- 食器に手を添えたり、持って食べることを意識する。

地域と家庭との連携

- 寒暖差が大きくなってくる時期だが、厚着になりすぎないようにお願いをする。また、温度調節しやすい服や動きやすい服を着せてもらえるように声をかけていく。
- 冬に流行りやすい感染症などについてまとめ、家庭でも予防に取り組んでもらえるようにしていく。体調が悪い様子が見られたら、家庭と情報共有できるようにコミュニケーションをとる。
- 自己主張がはっきりとしてくる時期のため、成長を喜びつつ、家庭と園で関わり方を話し合っていく。
- 散歩の際に地域の方と挨拶を交わしたり、公園で触れ合ったりする。

自己評価

- スプーンやフォークを正しく持って使おうとしていたか。
- 朝の挨拶や食事の際の挨拶を覚え、自ら言葉やしぐさで表現することができたか。
- 手洗いうがいや衣類の着脱などを意欲的に行っていたか。
- 自分のロッカーの場所を覚え、持ち物を自分の棚へ片付けることができたか。
- 木の実や落ち葉を使用した製作を楽しみ、自然にも興味を持つことができたか。
- リズム遊びや運動遊びを通して、思いっきり身体を動かすことを楽しんでいったか。
- 保育者や友達に、思ったことや自分の気持ちを言葉で伝えようとする姿が見られたか。
- 遊びなどを通して友達と関わって遊び、やりとりすることを楽しめたか。
- 固定遊具などにも興味を持ち、楽しく遊ぶことができたか。
- 自己主張する姿を丁寧に受け止め、情緒の安定を図ったか。
- 感染症に留意し、室内環境を整えたり体調の把握に努めたか。
- 友達と楽しい雰囲気の中で食事をし、苦手な物でも食べようとする意欲が見られたか。
- トイレで排泄することへの意欲を高められたか。
- 保育者や友達と簡単なルールがある遊びを楽しめたか。
- 心地良い気候の中、様々な場所へ散歩することを楽しめていたか。
- 絵本に親しみ、劇ごっこを楽しめたか。
- 楽器遊びを楽しめたか。
- 保護者と成長や悩みについて共有できたか。